

# のり養殖通報第6報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成26年12月11日発行

## [気象]気温は一段階降下

- 11月末～12月初めにかけては冬型が弱く気温は高めで経過。12月2日以降は強い冬型の気圧配置が続き気温が低下。以後、気温は平年以下で経過している（図1）。
- 11月下旬～12月上旬の木更津観測所における降水量は87mm（平年48mm）、平均日照時間は5.5時間/日（平年5.3時間）。降水量はやや多いが日照時間はほぼ平年並。
- 気象予報によると、今後は周期的に強い冬型の気圧配置となり気温は平年を下回る日が増えると予報されている。

## [海況]水温降下、栄養塩は十分

- 新富津のり漁場における観測値では、強い南西風が吹いた12月初めに暖水が波及し水温が18℃前後に上昇したが、12月5日以降は一段階降下し、現在は15℃前後で経過している（図2）。
- 12月8日・9日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾13～14℃台、内房は15℃前後で昨年同期とほぼ同じ水温帯に低下。内湾中央部底層には塩分34、水温15℃台の水塊が残存している。全域で植物プランクトンは少なく透明度は良好で栄養塩は十分な量が含まれている（右下表）。

## [今後の見込みと留意点] 良い場所を有効活用

- 気温・水温の低下で、県全体の生育状況が徐々に良くなってきた。今後は冬型の強まりによる更なる好転に期待。
- 表層水温の降下が続けば鉛直混合も活発化し安定した海況の継続が期待できる。良質ノリの増産を目指して下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。  
次回は12月17日頃発行します。

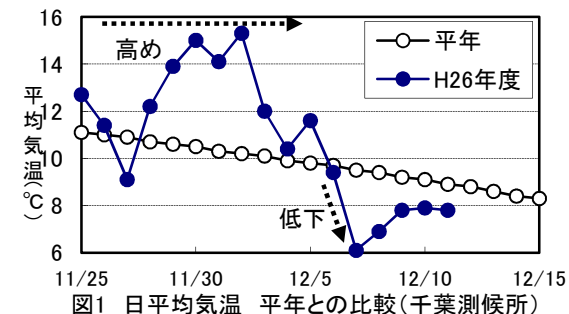


図1 日平均気温 平年との比較(千葉測候所)

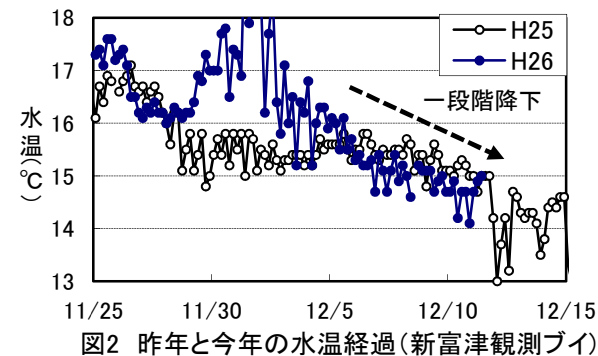


図2 昨年と今年の水溫経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内湾12/9, 内房12/8)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	13.5	31.7	8.2	底	696	55
盤洲Cブイ	14.5	31.9	8.2	6.5	586	41
盤洲Aブイ	14.4	32.6	8.2	6.3	495	41
富津ベタ	15.0	33.0	8.2	4.6	465	42
2海ほ下	15.1	32.8	8.3	7.0	394	36
大貫沖	14.7	33.0	8.3	8.0	362	33
湊沖	14.9	33.4	8.3	7.0	271	24

\*溶存無機態窒素 (μg/l)、\*\*リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素100, リン10